

輸出事業計画

※申請者名：丸原水沢製茶株式会社、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

これまで、茶商を通じてアメリカへ抹茶を中心とした緑茶を輸出してきた。輸出する抹茶の殆どを食品加工用抹茶が占めており、主に大手カフェチェーンやアイスクリームメーカーなどに向けて出荷している。

アメリカでは日本食文化が定着しつつあり、小売店、飲食店ともにお茶の需要が増え、健康意識の高まりやマインドフルネスの観点からもお茶の機能が注目を集めており、大手コーヒーチェーンやスムージーチェーンでの取扱いが増えている。このことから、今後もお茶の需要拡大が見込まれている。

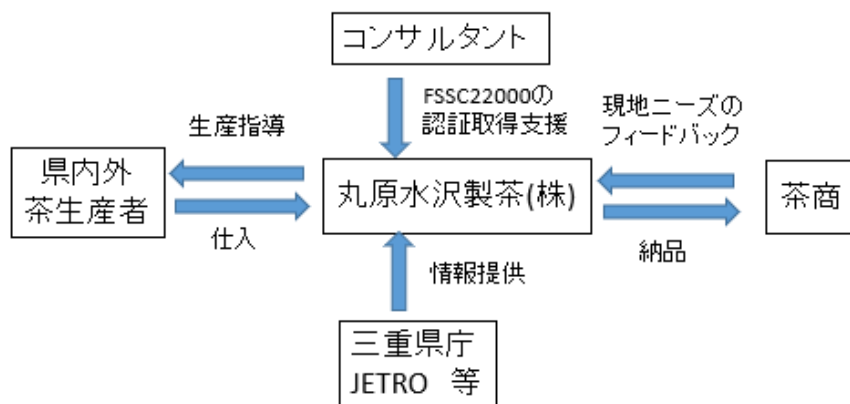
【課題】

取引先である茶商から、FSSC22000の認証取得をバイヤーが求めていると聞いているが、既存施設では輸出向け原料と国内向け原料を同じ殺菌機で殺菌しているため、コンタミネーションの懸念があり、かつ切り替えのための清掃に時間を要しており、需要に見合った生産ができていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・ 茶商からの発注数量に対応できるFSSC22000の認証取得ができる新工場の新設に向け、専門家のアドバイスを受け、令和5年度にHACCPハード事業を活用した新工場建設及び殺菌機移設等を実施。
- ・ 専門家の指導を受け、令和6年度にFSSC22000を認証取得予定。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

茶	現状 (令和4年1月期)	目標年 (令和8年1月期)
輸出額(千円)	181,029	323,945
輸出量(kg)	38,252	55,997
輸出先国	アメリカ	アメリカ